

鳥取県地域づくり推進部指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会の評価報告書

鳥取県地域づくり推進部指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会（以下「審査・運営評価委員会」という。）として、次のとおり指定管理者による鳥取県立倉吉体育文化会館の管理運営状況を評価した。

1 対象施設

鳥取県立倉吉体育文化会館

2 指定管理者

公益財団法人 鳥取県スポーツ協会

3 指定管理期間

平成31年4月1日から令和6年3月31日

4 審査・運営評価委員会

(1) 開催日 令和4年8月25日（木）

(2) 開催場所 鳥取県立鳥取産業体育館

(3) 審査・運営評価委員

氏名	所属等
黒田 多美子（委員長）	倉吉市スポーツ推進委員協議会 会長
酒井 嘉一（副委員長）	税理士
景山 かず子	鳥取県障がい者水泳協会 理事
小林 一義	鳥取県地域づくり推進部スポーツ振興局スポーツ課長

(4) 評価方法

平成31年度から令和3年度分の指定管理者から提出された事業報告及び各年度の県による評価結果等に基づき、各委員が以下の審査項目ごとに評価を行った。

評価は、「2、1、0、△1、△2」の5段階で行い、4人の委員の平均で決定した。

審査項目	主な審査内容
1 施設設備の維持管理等	<ul style="list-style-type: none">施設設備の保守管理・修繕施設の保安警備、清掃等事故の防止策、緊急時の対応
2 利用者サービス	<ul style="list-style-type: none">開館時間、休館日、利用料金等利用者へのサービス提供・向上策、施設の利用促進個人情報保護、情報公開利用者意見の把握・対応
3 収支の状況	<ul style="list-style-type: none">利用料金の徴収、減免の状況管理運営にかかる収支状況
4 管理運営の状況	<ul style="list-style-type: none">職員の配置会計事務の状況法令等の遵守

【評価指標】

- 2：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画を上回る実績があり、特に優れた管理運営がなされている。
- 1：協定書の内容を上回るレベルで実施されており、優れた管理運営がなされている。
- 0：おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。
- △1：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み又は改善される見込みである。
- △2：協定書の内容に対し、不適切な事項が認められ、大いに改善を要する。

(5) 評価結果

ア 評価点数

指定管理者による鳥取県立倉吉体育文化会館の管理運営状況の評価は「0」と決定した。

審査項目	評価点数 (各委員の平均)
1 施設設備の維持管理等	0. 7 5
2 利用者サービス	0. 5 0
3 収支の状況	0. 0 0
4 管理運営の状況	0. 2 5
総 括	0. 3 7 5

(注) 総括の評価は0. 3 7 5となり、委員協議の結果、5段階のうち「0」と決定。

イ 審査・運営評価委員からの主な意見

(施設設備の維持管理等)

- ・県との協定に従って適切に管理されている。
- ・スポーツライミング設備はかなり整備され、管理もしっかり行われている。
- ・施設の老朽化による不良箇所対応に苦慮しているとのことだが、県ともよく相談の上、必要に応じて改修の予算化を検討すべき。

(利用者サービス)

- ・県との協定に従って適切にサービス維持・向上に取り組んでいる。
- ・全国的に珍しいライミングウォール施設を有している。さらなる有効活用を期待する。
- ・地域社会活動との連携強化（公民館活動・子ども会・町内会活動への協力等）が施設の特徴であるが、子どもの体力づくり、高齢者の生きがいづくり、障がい者スポーツ、出前教室等を実施しており、地域サービスとして評価できる。
- ・文化施設としての役割を意識し、パソコン教室を実施する等工夫ある自主事業は高く評価できる。
- ・地域の小中学生が参加する「サマースタディーin体文」は高校生がボランティアとして関わっており、子どもたちにとっても素晴らしい未来につながる体験だと思う。
- ・スポーツと文化が繋がっており、他の施設にはない特性がある。努力を感じる。
- ・障がい者駐車場からのエレベータ位置表示がわかりやすく改善されていた。
- ・A E Dの設置場所改善提案が反映されていた。
- ・利用者からの苦情・要望等が全くないとのことだった。本当にそうであればよいが、少し疑問が残る。
- ・利用者からの苦情・要望は令和2年及び令和3年度は無しであり、また積極的評価は3年間同一内容とのことであるが、このようなことは考えづらく、利用者の声を聞くことに関

しては改善の余地があると思う。

- ・常設してあるアンケートの様式を変更し、幅広い意見を聞くことのできるよう改善した方が良い。

(収支の状況)

- ・事業収入、管理支出、利益のそれぞれが各年度比較的安定している。
- ・令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により収入は大きく減少しているが、支出を抑えており、利益はコロナ前の水準をほぼ維持している点は評価できる。

(管理運営の状況)

- ・県との協定に従って適切に管理されていると思う。
- ・障がい者の雇用をしていないが、館長は雇用について前向きであった。
- ・管理運営全般において頑張っているが、障がい者活用の面で物足りない印象がある。
職員として雇用できずとも、作業所からの発注を積極的に活用する等、工夫の余地あり。

(その他)

- ・管理者の施設を大切にする気持ちや地域住民に利用していただくとする気持ちが伝わった。特にスポーツライミングのライブ動画配信、教室、館内館外の環境整備等。
- ・館長をはじめとする施設職員の施設運営から地域とのつながりを感じることができる。
- ・避難所開設、地域との連携に貢献している。